KOBE GAKUIN UNIVERSITY

FD News Letter

2019 No.2

神戸学院大学
全学教育推進機構

プチ・アクティブ・ラーニング

全学教育推進機構長　春藤　久人

私が所属する理系（医療系）学部の専門科目では、講義、演習、実習がセットとなっており、講義でまとまった知識・情報を伝達し、演習で応用し、実習で自主的に自らが体験する学習形態（いわば、アクティブ・ラーニング）が一般的です。しかし、最近では、アクティブ・ラーニングが注目され、講義形式の授業にもアクティブ・ラーニングの導入が求められています。その背景のひとつに、基礎学力や学習技能が不十分でも入学可能となったため、座学中心の授業では学習成果が見込めなくなったことが挙げられます。これに対して、教員からは、「アクティブ・ラーニングをやると授業進度が遅れる」、「伝達できる知識量が不足し、資格試験（国家試験等）に対応できない」などの意見がよく聞かれます。私も同様の意見を持っていました。しかし、最近、大半の学生が講義形式の授業では１時間も集中できず、さらに、出席カードの感想・質問を見ていると、講義で伝える情報量を減らさないと授業についていけない学生がかなりいるようになってきました。基礎学力が不十分な学生に無理やり知識を伝えたとしても身に付くとは考えにくいので、この状況を何とかしたいと悩んでいました。そんな時、「講義形式でも可能なアクティブ化」に関するFD研修でヒントを得て、講義中の時間を少し短く区切り、ConcepTestとピア・インストラクションの時間を設けるようにしました。まだ、効果の程は半信半疑ですが、学生からは、「記憶に残る」、「深く理解できる」という感想がありました。ただし、知識面で不十分になっている点は否定できず、どのように補うかが課題です。授業外の学習課題、補講などで補っていくか、あるいは、全体的なカリキュラムの中で科目間の横の繋がりを緊密にし、内容分担の調整などの工夫がいると思います。アクティブ・ラーニングは個々の教員が工夫することが必要ですが、それを支えるために、学科、学部として全体的なカリキュラムの中で相補し合うことで、導入へのハードルが少しは軽減できるのではないでしょうか。

2019年度神戸学院大学FDワークショップを開催しました

2019年9月13日（金）、神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパスA号館6階大会議室にて「学生の声を教員に届ける」というテーマで、2019年度神戸学院大学FDワークショップを開催しました。

今年度よりFD・IR特任講師として着任したため、できる限り本学ならではの特徴を活かした、学内講師が担当するワークショップを目指そうと考え、本学のFDワークショップとしては初めての試みとして、各学部等代表学生に参加してもらった、学生参加型ワークショップとして企画しました。そのため今回は本学教員50名、各学部等代表学生22名、運営スタッフ7名の総勢79名での盛大なFDワークショップとなりました。

代表学生の皆さんは、午前中からワークショップに向けた事前打ち合わせを行った上でワークショップに臨みました。事前の打ち合わせでは、日頃から各学部等の授業を受ける上で、どのような授業が学生のやる気を引き出しているのか、反対にどのような授業では先生の熱心さが感じられないのか、など学生の考える「良い授業とは何か」ということについて、各々が意見を出し合いました。

今回のFDワークショップは、シンポジウム1つとワークショップ2つの3部構成で開催されました。まずシンポジウムでは、各学部の積極的な取組みを紹介していただき、今後の先生方の教育活動にお役立ていただくことを目標とし、各学部から1名事前に選出いただいた先生に、特色のある授業や取り組みについて紹介していただきました。それを受けて、学生から午前中の打ち合わせでまとめた内容を踏まえ、学生から授業や学部内取り組みに対する意見を述べる、という形式で進められました。参加された先生方からは、各学部の取り組みが参考になった、という意見も多くありましたが、何よりよく聞かれた意見として「学生が授業について真剣に語る姿を見られて良かった」ということが挙げられます。学生が実は授業に対して抱いていた思いに触れることができた、という点において、今回の学生参加でのシンポジウムの実施は、大変意義のあるものであったと思います。またそうした学生の言葉を前のめりになって聞いている教員の姿に、「先生方が真剣に学生の意見に耳を傾けてくれた」と参加学生も感慨深そうにしていた点も、強く印象に残るものでした。

その後行われた1つ目のワークショップも、学生参加であるという点においても、個人ワークではなくグループワークとして「スタディ・スキルの授業デザインを行う」という点においても、初めての試みとなりました。このワークショップはグループで1つの授業をデザインする中で、他学部の教員や学生と話し合い、お互いの授業改善の努力を共有し合いながら進める形

式で行われました。特に学生参加の利点を活かし、学生に授業の目的と到達目標を確認してもらい、わかりやすいかどうかを確認するといったようにワークショップを構成することで、学生目線を意識した授業デザインを体感していただけたのではないか、と思います。

続いて行われた2つ目のワークショップからは、「ティーチング・ポートフォリオ」をテーマとし、先生方のみで開催しました。このワークショップではまず先生方にティーチング・ポートフォリオについてより知ってもらい、その上でティーチング・ポートフォリオシートの作成をゴールとしました。この過程で神戸学院大学の建学の精神を思い返していただく、教育基本理念から求められる教員像を考えていただく、といったワークも行い、日頃忘れがちな「神戸学院大学で求められる教員」という視点からご自身の教育活動を振り返っていただくことができました。

参加された先生方からは、「他学部の学生の意見が聞ける貴重な機会であった」「考え方を整理でき、新しい発想が得られた」「自分自身の教育を見直す良い機会になった」と大変好評をいただきました。その他、頂戴いたしましたご意見につきましても、来年度のFDワークショップに反映して参りたいと考えております。来年度も学生参加型のワークショップを開催したいと考えております。そのため、来年度4月以降、学生の募集等で各学部等先生方にはご協力をお願いすることと思いますが、何卒実りあるワークショップの開催のため、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

（執筆：川内亜希子）

プログラム

- ◆13：00～　開会にあたっての諸注意
- ◆13：05～　開会のご挨拶（佐藤学長）
- ◆13：10～　本ワークショップの趣旨説明
- ◆13：15～　シンポジウム「学生との対話を通して見えてくるもの」
- ◆14：10～　休憩（10分）
- ◆14：20～　ワークショップ
  ①「シラバスと授業の動機付け
  ～コースデザインルーブリックの作成」
- ◆15：20～　休憩（10分）
- ◆15：30～　ワークショップ
  ②「これまでの教育活動の振り返り
  ～ティーチングポートフォリオの作成」
- ◆16：45～　まとめ「2つのワークショップを終えて」
- ◆16：55～　閉会の辞（春藤機構長）

SPODフォーラム2019に参加してきました

2019年8月28日（水）～30日（金）、愛媛大学城北キャンパスにて開催されましたSPODフォーラム2019に、本学職員2名が参加しました。職場ですぐに使える実践的なFD・SDプログラムが数多く開講される中、『カリキュラムコーディネーターのための基礎知識』という講義を受講しました。カリキュラムの構成やマネジメントについてグループワークを通して自学の課題を見つめ直し、話し合うことのできる時間がとても有意義でした。

カリキュラムコーディネーター養成研修会〈初級編〉に参加してきました

2019年11月16日（土）～17日（日）、追手門学院大学総持寺キャンパスにて開催されましたカリキュラムコーディネーター養成研修会〈初級編〉に、本学職員２名が参加しました。

さまざまなワークやセッションを通して、各参加大学のカリキュラムの特徴と課題を客観的に捉えることができ、ディプロマ・ポリシーに掲げた人材像へ向けて、学生をより確実に育てていくためのカリキュラムマネジメントの重要性を改めて認識する機会となりました。

シラバス作成セミナーを開催しました

12月6日（金）および9日（月）15：30～17：00、KPC1・KAC各キャンパスにて、シラバス作成セミナーを開催しました。

近年、文部科学省から各大学に対して、すべての授業科目についてシラバスを作成し公開することや、シラバスに記載している内容と実際に実施されている授業との一致、記載内容の適切性を担保するための担当教員以外の第三者によるチェック体制の構築といったことが強く求められるようになっています。加えて、昨年度の私立大学等改革総合支援事業や、高等教育の無償化・負担軽減等に向けた取組み等においても、シラバスの内容について言及されています。そういった本学を取り巻く状況を鑑み、刻々と変わりゆくシラバスの作成方法およびシラバスそのものの在り方に対して本学一丸となって対応していくため、今回は教員だけではなく、教務系職員にも受講いただきました。

今回のシラバスセミナーでは私が講師を務め、セミナー前半では本学のシラバスマニュアルを使用しながら、シラバスとは何か、シラバスの役割、シラバスの記入に関する基本事項といった、教員・職員共にシラバスについて今一度見直す上で必要となる知識についてお伝えしました。こういったシラバスを再確認する上で重要な情報について、教員だけでなく教務系職員に聞いていただけたことは、教務上必要な授業の状況把握という点において今後有益になるのではないかと感じています。セミナー後半では、私自身が事前に参加者のシラバスをチェックしたものを踏まえて、参加者のシラバスの改善点等について一人一人と話し合いながら、よりよいシラバスを目指してブラッシュアップを行いました。その過程では、個々の教員がシラバスを書く上で感じていた難しさや授業デザインそのものについての疑問点といったところについても、共有していただくことができ、こうした生きた教員の意見を今後のセミナーに反映して参りたいと考えています。また今回は少人数での開催となったため、参加者

同士のピア・レビューを含めたワークを通して、各自のシラバスのセルフチェックを行うと共に、授業運営についてもアイデアの共有等を行うことができ、より一層個々のニーズに配慮したセミナーをお届けできたのではないか、と感じました。残念なことに参加者が少ないことを事前に把握していたため、せめて参加していただいた教員の方々には有意義な時間を過ごしてもらえればと考え、少人数セミナーならではの個々のニーズに合わせたセミナー運営を心がけた結果、参加教員の先生方のシラバスの見直しの過程に寄り添うことができ、私自身大変勉強させていただきました。参加いただきました先生方、本当にありがとうございました。

全学教育推進機構が主催するシラバスに関するセミナーは、実に10年ぶりの開催となりましたが、今後は定期的に開催し、教員が授業を運営する上でも、また学生が授業を選ぶ上でも、よりよいシラバスとはどのようなものなのか、という点について考えていく機会を増やしたい、と思います。また、今年度実施する全学教育推進機構主催のFDセミナーは、このシラバスセミナーが最後となりました。次年度も全学的なFDの推進を目指し、またより一層教育の質を高められるよう、充実したFD関連イベントをお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご参加ください。

（執筆：川内亜希子）

当機構では、今後も先生方のニーズに即した情報交換会を開催したいと考えております。
ご要望など、どうぞお気軽に機構までお寄せくださいますようお願い申し上げます。

2020 年度 FD 活動のお知らせ

2020 年度の FD 年間計画が決定いたしました。実施日時等詳細は、改めて全学教育推進事務グループより学内情報メールサービスや掲示ポスターなどでお知らせさせていただきます。（予定は予告なく変更・中止になる場合がありますので、予めご了承ください。）

年	月	活動内容【講演テーマ】
2020 年	4 月	・新採用教員対象 FD ガイダンス開催【本学における FD 活動について】
	5 月	・前期 FD 参観（授業公開）強化期間（5/7 ～ 6/30） ・ポーアイ 4 大学合同 FD セミナー開催（KPC） 【学生の主体的な学びを促す授業をデザインする】
	7 月	・大学コンソーシアムひょうご神戸主催 FD・SD トップセミナー開催 【大学をめぐる政策と大学ブランド力について】 ・前期授業アンケート実施（7 月上旬～下旬） ・『FD NEWS Letter 2020 No.1』発行・WEB 公開（7/31）
	9 月	・FD ワークショップ開催（9/11）【学生の声を教員に届ける】
	10 月	・後期 FD 参観（授業公開）強化期間（10/1 ～ 11/30）
	12 月	・前期授業アンケート結果 WEB 公開予定 ・後期授業アンケート実施（12 月中旬～ 1 月中旬）
2021 年	1 月	・『FD NEWS Letter 2020 No.2』発行・WEB 公開（1/29）
	2 月	・ポーアイ 4 大学合同 FD セミナー開催（KAC）【5 月開催セミナーと同内容】
	3 月	・FD セミナー【カリキュラム・アセスメントの見直しについて】

11 月 2 日（月）には、カリキュラムコーディネートについて、SD ワークショップを開催予定です。

専任教員 FD 活動参加 100%を達成しました

2018 年 9 月～ 2019 年 8 月末、本学専任教員 FD 活動参加率 100%を目指して取り組んで参りました。皆様のご理解とご協力を賜り、前期に引き続き、今期も無事に 100%を達成いたしましたことをご報告いたします。これは本学専任教員の皆様に FD が義務であることが根付き、各々意識的に FD への参加を心がけてくださった結果であると考えております。

来期（2019 年 9 月～ 2020 年 8 月末）につきましても参加率 100% 達成はもちろんのこと、教員個々の能動的な FD への参加を促進するための FD 関連イベント等を企画してまいりますので、個々のニーズに合わせてご参加ください。

編集後記

今期は FD 事務担当者として、愛媛大学で開催された SPOD フォーラム 2019 や、追手門学院大学で開催されたカリキュラム・コーディネーター養成研修会など、様々な研修に行かせていただく機会がありました。普段の業務の中では気づきにくい職務上の改善点や発想転換のきっかけになったと感じています。神戸学院大学に還元できるよう全学教育推進機構一丸となってがんばります。

KOBE GAKUIN UNIVERSITY FD News Letter
2019 No.2
発行日：2020 年 1 月 31 日
発行 神戸学院大学 全学教育推進機構
〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518 TEL.078-974-4692 FAX.078-974-2569